

# やまなし

2014.11.20

vol.12

no.

1

## contents

2 ようこそラーニングコモンズへ  
— 学びの空間としての図書館 —

4 図書館利用者の声

5 学生にすすめる本

6 図書館統計

7 図書館トピックス

●「医学部講座事務職員向け講習会」、  
「CINAHL講習会」を開催

【医学分館】

●リニューアル アンケート実施

【本館】

●近代文学文庫講演会を開催

【本館】

8

今後のイベント紹介

# ようこそラーニングcommonsへ —— 学びの空間としての図書館 ——



テラサキ ヒロアキ  
山梨大学附属図書館長 寺崎 弘昭

山梨大学附属図書館(甲府キャンパス)は、本年2014年4月、耐震改修にあわせ全面的なリニューアルにより、新たな学びの空間へと変貌しました。

これまでの大学図書館がどちらかというと学術図書の集積を中心にその利用がいわばサービスとして行なわれていたのと対比すれば、新装となった図書館は、学びの空間を中心に、集積された図書や機材がそこの学びや学び合いを支え促す、といったコンセプトでつくられています。

図書館玄関を入りますと、広々と広がる開放的な「ラーニングcommons」が皆さんを迎えてくれます(写真1.)。

1. Entrance



2. Learning Commons



「ラーニングcommons」は、柱だけを目印に区分けされた、ライティングサポートエリア、グループミーティング・エリア、プレゼンエリア、多目的エリアから成っています(写真2.)。

順にまずは、ライティングサポート・エリア。サポートデスクのアシスト・スタッフ(先輩学生)が、館内利用法や、レポートから卒論まで相談に乗ってくれます(写真3.)。また、木曜日16:00~19:00には、工学部の「フィロス(共創学習支援室)」が出張デスクを設けていて、数学についての疑問・質問に専門家が答えてくれます。

次いで、グループミーティング・エリア。メモ台付チェアに何人かで座って学び合い。iPadも十分に用意されていますから、それも、奥のカウンターから借り出して利用してみましょう。

多目的エリア。大型モニターにパソコンをつないでワイワイ勉強(写真4.)。

そして、プレゼン・エリア。固定プロジェクターにパソコンをつないで大人数で学習会。机上用プロジェクターとスクリーンも4組用意されていますから、小グループでのプレゼン練習・学習会にも便利です。

### 3. Support Counter



### 4. Multipurpose Area



入口の傍には、新聞・雑誌閲覧エリアもあり、その日の新聞や新刊雑誌を手にとって読むことができます（写真5.）。これまた入口の傍、反対側には、自動販売機コーナーもありますから、疲れたらここで一休み。

2階に上って行きますと、通常のコンセント付き閲覧席の先に、赤枠の大きなガラスで隔てられた空間が広がっています。そこがグループミーティング・エリアです（写真6）。

### 5. Newspapers & Current Magazines Area



### 6. Group Meeting Area (2nd Floor)



特に静かな環境で自己学習に没頭したい方にお薦めするのが、写真6の向こうに見える、サイレントエリア。そして反対側には、仲間同士だけの勉強会に最適な、グループ研究室エリアがあります（写真7）。簡易スクリーンが常備されていますので、1階から机上用プロジェクターを借り出して、パソコン画面を映し出しながらの学び合いもできます。

### 7. Group Study Area (2nd Floor)



3階には、これまで同様、25台の端末が揃ったYINS端末室。ビデオ・音楽CDを楽しむことができる視聴覚室もありますから、是非利用してみてください。

図書館が、皆さんの大学での充実した学びと学び合いを進める、心地よい空間として活用されることを願っています。「ラーニングコモンズ」の「コモンズ (Commons)」は、みんなで利用する「共有地」です。

### ラーニング・コモンズ



教育人間科学部 学校教育課程  
障害児教育コース 4年  
オダ コトミ  
小田 琴美

山梨大学附属図書館がリニューアルオープンしたのが今年4月。赤と緑の奇抜な色で始めは驚き、落ち着かなかった内装にも慣れてきました。私もちょうどその頃から「学生相談員」として図書館でお世話になっています。

1階に新設された空間、ラーニング・コモンズは、ノートやパソコンを広げて勉強するもよし、サークル等のミーティングに利用するもよし、といった万能な空間です。貸出品としてiPad、プロジェクターセットがあり、大型プリンター等も利用可能ですので、ミーティングや話し合いの場でも活躍すると思います。

月・水・金曜日には学生相談員が居ますので、学生生活での困ったことや学習のコツ等を尋ねることもできます。ですが、始まってこの方、相談件数はごくわずか。少々寂しくもあります。有効活用できれば、もっと有意義な学生生活になるかもしれませんね。

また、リニューアルに伴って、1階に雑誌・新聞の閲覧スペースができたのをご存知ですか？学生、特に一人暮らしの身では新聞をとるのは大変ですが、図書館に来れば最新の新聞が置いてあります。雑誌の種類もいくつかあるので、私もよく利用させていただいています。

新しい学習空間として新設されたラーニング・コモンズは、使い方次第で自分に合った素敵な空間になると思います。授業の空き時間には学習に、話し合いに精を出す学生で賑わっていますので、ぜひ一度、足を運んでみてください。

### 本館からの本の デリバリーサービス



医学部 生化学講座第一教室 助教

ハギワラ アカリ  
萩原 明

ネット検索しながらポチっとしたり、特急電車が来るまでの空き時間に本屋さんで目についた文庫本を手にとったりもしますが、甲府駅前に県立図書館ができてから図書館も本と巡り合う大事な場の一つとなりました。が、話題の本は常に長い予約者リストで埋まっており、手元に本が届くのはいつになることやら…。

昨年百田尚樹さんの本が話題になった時も待っていたら話題に乗り遅れるのでぼちっとしようかな。と悩んでいた時、ふと学内総合案内の「My Library」で検索してみると、まさにその本が誰にも借りられていない状態でおいてありました。もっとも身近な図書館の存在と利便性を再認識し、これからはもっと利用しよう！と考えていたのですが、残念ながら医学分館の蔵書はそのほとんどが医学の専門書です。他ジャンルの本は、本館にはあるけど借りに行くのは難しい（めんどい）し、と当初はあきらめていました。

ある時ふと、同じ大学の図書館ならば相互利用できるシステムがあってもおかしくないんじゃないか?!と思いつき、図書館のサービスに問い合わせしてみると、「あるよ。」（実際はもっと丁寧な回答を頂きました。）とのお返事。クレームをつけて新しいサービスを開始させるぞ！と勢い込んでいたので、思わず「あれ?あるの?？」と拍子抜けしてしまいました。

利用者サービスの現物貸借申し込みで最後の通信欄に「本学からの貸借を希望します。」と一言入れるだけで、無料で本館の本を届けてくれます。延長等に少し制約はありますが、返却もちろん分館のできることで便利です。最近はおっぱら気になった本や作家さんを検索してMy Libraryにブックマークしておき、読み終わると次を申請するという形式で様々なジャンルの本を楽しんでいます。専門書ばかりの医学分館には縁がないわ。と思っている方にもこんな活用法もあるという参考になれば幸いです。

## 創傷治療の歴史は身近な医療材料に繋がっている!!

医学部看護学科 成育看護学講座  
イシカワ マリコ  
石川 眞里子 教授



### ◇ 創傷ドレッシングの歴史

W. J. ビショップ著 川満 富裕訳  
時空出版

私たちが日常的に創傷のケアに使用している医療材料には、創傷を被覆するガーゼやパット類、皮膚保護剤をはじめとして、固定用の包帯・テープ類、消毒液や治療薬、洗浄機器など多くのものがある。それらの創傷ドレッシング材は何気なしに使用しているのだが、本書では戦争による銃創や解放骨折などの治療をしなければ死に至る時代から現代に至るまでの創傷療法の歴史、さらに外科治療の変遷までも見えてくるから面白い。外科医の必死の試行錯誤や試練ともいえる努力から創傷治療やドレッシング材の変遷が遂げられてきたことの理解は、より良い材質の開発やケアのあり方に繋がるものである。

私はストーマケアナース (Entero Stomal Nurse) のトレーニングを1980年代に受けて長年ストーマケアに関与する中で、ストーマ粘膜と皮膚の縫合創に直接当てるストーマ装具の皮膚保護剤といういわゆるドレッシング材の研究が進んだ経緯を目の当たりにしてきた。ストーマ創が感染制御されて縫合創がきれいに修復する原理は、創傷治癒理論を背景として、いかに創傷被覆材が創部の環境を整えるのに有効かという証明にも繋がっている。また、皮膚排泄ケアの観点からは褥瘡ケアはまさしく創傷のステージに応じていかに創傷ドレッシング材の特徴を理解した上で使い分けるかが重要であるが、基本的なスキンケアの原理と相まってケアをしないとその効果も半減してしまうこともある。このように、創傷ケアはスキンケアとも関連しており看護においては日常不可欠な知識となっている。

本書により、歴史的背景を理解しながら創傷管理の理論の変遷をたどってみるのは、目の前に起きている現象を理解する一助となることを確信する。ぜひ手にとっていたきたい。

## 教育の「これまで」を知り、「これから」を考えるために

大学院総合研究部 教育人間科学域 教育学系  
イワナガ マサフミ  
岩永 正史 教授



- ◇ 大衆教育社会のゆくえ
- ◇ 自民党と教育政策
- ◇ 日本が「神の国」だった時代
- ◇ 教科書が危ない

学校の先生の仕事はいそがしい。目の前に起こるさまざまな問題につぎつぎに対応していくと、あっという間に一年が終わります。

でも、ちょっと待って。一つ一つの問題を、客観的に見ると、いろんな疑問がわいてくるはず。「学力向上と言うけれど、今のやり方でいい?」、「子どもの学力が二極化している。なぜこうなったんだろう?」、「道徳を教科にするとするけれど、なぜ?それで教育は、よくなるの?」…

こんな疑問は、大切にしたいものです。確かに、「今日、明日の実践」は大切ですが、学校の先生には、「今日、目の前の問題」を形作ってきた教育の「これまで」を知り、「今」を理解し、「これから」を考えることも重要だからです。そんなとき、読みたい四冊です。

『大衆教育社会のゆくえ』刈谷剛彦 中公新書

『自民党と教育政策 ―教育委員任命制から臨教審まで―』山崎政人 岩波新書

学校を取り巻く状況はどう変わってきたか、どう変わるか、教育を動かす背後にある、政治、行政、社会の教育に対する見方を批判的に検討しよう。

『日本が「神の国」だった時代―国民学校の教科書を読む』入江曜子 岩波新書

『教科書が危ない―『心のノート』と公民・歴史』入江曜子 岩波新書

前者は、日本が第二次大戦へと突き進む中どんな教育がされたのか、当時の教科書教材を豊富に示しながら考えます。歴史を知ることとは「今」を知ることです。そして、同じ目で見た筆者が「今、感じる危うさ」を述べたのが後者。「同じ失敗」を繰り返さないために二冊合わせて読んでみよう。

所蔵あり ⇒ 医学分館 2階開架図書 (第三) W0185 / SOU

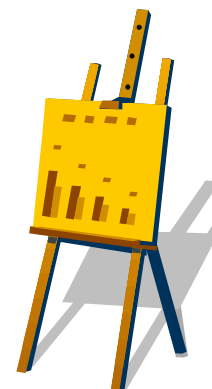
所蔵あり

中公新書⇒ 本館2F一般書架 372.1  
岩波新書⇒ 本館2F文庫新書書架 JIM, NIH, KYO



(1) 開館日数・入館者数

区分	開館日数	入館者数(人)		
		学内者	学外者	合計
本館	257日	69,808	1,360	71,168
分館	288日	168,882	287	169,169



(2) 館外貸出冊数・参考調査取扱件数

区分	館外貸出冊数(冊)				参考調査 件数
	学生	教職員	学外者	合計	
本館	18,487	3,193	588	24,873	1,796
分館	13,902	2,205	329	16,436	2,828

(3) 相互利用

区分	貸借(単位:冊)		文献複写(単位:件)	
	貸出	借受	受付	依頼
本館	255	265	755	1,436
分館	68	47	1,830	2,504
合計	323	312	2,585	3,940

(4) 子ども図書室(H25年度)

開館日数	112日
入室者数	4,278人
貸出券発行人数	45人
蔵書冊数	4,216冊
貸出冊数	1,191冊

## 2 図書館蔵書統計

(1) 図書・雑誌蔵書数 (H26.3.31現在)

区分	図書(単位:冊)			雑誌(単位:種)		
	和図書	洋図書	合計	和雑誌	洋雑誌	合計
本館	352,136	130,489	482,625	7,376	2,473	9,849
分館	52,747	42,789	95,536	2,497	1,326	3,823
合計	404,883	173,278	578,161	9,873	3,799	13,672

(2) 図書・雑誌受入数 (H25年度)

区分	図書(単位:冊)			雑誌(単位:種)		
	和図書	洋図書	合計	和雑誌	洋雑誌	合計
本館	3,417	89	3,506	2,380	183	2,563
分館	1,702	66	1,768	523	105	628
合計	5,119	155	5,274	2,903	288	3,191

## 3 電子ジャーナル統計

電子ジャーナル (2013/1~2014/12) fulltext ダウンロード件数

Science Direct	109,786	Science	3,560
Nature Group	12,727	Oxford University	3,436

## ❀ リニューアル アンケート実施しました。

本館では、平成26年7月に改修されたラーニングコモンズエリアについてのアンケートを実施しました。詳しい結果は図書館サイト (<http://www.lib.yamanashi.ac.jp/learning%20comons/top.htm>) をご覧ください。こちらではその一部ご紹介いたします。たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

### 1F

Q. どのくらい利用しますか？ (単位：%)  
 毎日 ほぼ毎日 週に数回 月に数回



Q. どのように利用していますか？  
 学習に 友人との休息に



Q. 利用したご感想は？  
 快適 不快



### 2F

Q. どのくらい利用しますか？ (単位：%)  
 毎日 週に2~3回 月に数回



Q. どのように利用していますか？  
 図書利用学習 PC利用 場所のみ利用

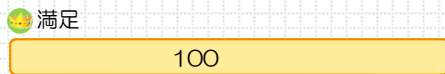


Q. 利用したご感想は？  
 快適 不快

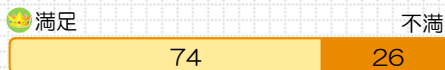


### 新聞・雑誌コーナー

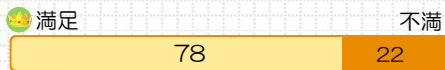
Q. コーナーはいかがですか？ (単位：%)



Q. 新しい雑誌はいかがですか？



Q. 新しい椅子や机はいかがですか？



### こんなご意見もいただきました

会話しながら勉強ができる！ (1F)

ゼミなどで使いやすい！ (2F)

勉強に集中できる！ (2Fサイレントエリア)

きれい！ (2F)

話し声がうるさい。 (1F)

## ❀ 「医学部講座事務職員向け講習会」, 「CINAHL講習会」を開催



医学分館では、平成26年7月2日(水)に医学部講座事務職員向け講習会「文献入手の基礎知識」を初めて開催しました。普段講座事務職員が担当している論文の検索方法や電子ジャーナルの使い方、学外からの文献の取り寄せ方法などを実習形式で説明しました。当日は30名の参加がありました。

また、6月23日(月)にはEBSCO社から講師を招き、看護文献データベース「EBSCO CINAHL (シナール) 講習会」を開催しました。大学院生、教職員等21名の参加があり、初心者のみならず既に利用中の方にも、新機能も含めて改めて利用方法を確認していただく機会となりました。

も、新機能も含めて改めて利用方法を確認していただく機会となりました。

## ❀ 近代文学文庫講演会を開催



本館では、平成26年10月11日(土)に「日本とロシアのまじめな近代文学 - 二葉亭四迷の時代 - 」と題した講演会を開催しました。講師に十文字学園女子大学短期大学部 准教授、小林実氏をお招きし、ロシアに深く縁のある二葉亭四迷を中心とした日本の近代文学について、参加者が熱心に聴講しました。講演後には、当館2階に設置された常設展「生誕150周年記念 二葉亭四迷と明治文学の世界」に

場所を移し、坪内逍遙, 幸田露伴, 夏目漱石等



明治文学を代表する数々の作品を、講師の解説を交えながら見学しました。

## event

### 今後のイベント紹介

平成26年度山梨県・山梨大学連携事業

### 「子どもと読書活動をつなぐ・連続講座」全5回のご案内

第4回 「図鑑で遊ぼう！」 講談社図鑑編集担当 森定 泉氏 講演

日時：平成26年12月4日(木) 午後2時～

場所：山梨県立図書館

第5回 関西大学初等部ライブラリー司書 向井 ひろこ氏 講演

日時：平成26年2月13日(金) 午後2時～

場所：山梨県立図書館

子ども図書室では、山梨県と山梨大学の連携事業の一環として、山梨県立図書館と山梨大学の共同企画により、「子どもと読書活動をつなぐ・連続講座」(全5回)を開催しています。子どもと本にかかわるテーマで講演やワークショップを行っています。

参加ご希望の方は、下記までお問い合わせ、お申し込みください。

#### お申し込み・お問い合わせ

山梨県立図書館サービス課 子ども読書推進担当

〒400-0024 甲府市北口二丁目8-1 TEL 055-255-1040 FAX 055-255-1042

◆イベント詳細については、ポスター・パンフレット・山梨大学附属図書館ホームページ等でお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしています。

## 学外の方への利用案内

本館及び医学分館は、山梨大学以外の大学生をはじめ一般の方々も利用できます。詳細については、<http://lib.yamanashi.ac.jp/>をご覧ください。本館 Tel:055-220-8066 (情報サービスグループ)、医学分館 Tel:055-273-9357 (医学情報グループ)にお問い合わせください。



山梨大学附属図書館報

「やまなし」

第12巻第1号

2014年11月20日 発行

編集：館報編集委員会

発行：山梨大学附属図書館

〒400-8510

甲府市武田四丁目4-37

TEL 055-220-8063

●表紙撮影：図書・情報課 職員  
場 所：山梨大学(甲府キャンパス)